

# ピアニスト 豊嶋 裕子 氏

テーマ 世界の音楽は  
愛とイマジンで繋がっている

- 開催校 八戸市立明治中学校
- 日 時 令和7年2月10日 14:35~15:25
- 参加者 1~2学年 43名



## START

### 豊嶋さん登場！



先生の紹介を受けて豊嶋さんが登場。

立志式があったこの日、記念講演会として八戸大使ふるさとセミナーが開催されました。



セミナー前に行われた立志式にも同席されていた豊嶋さん。

その際の生徒の素晴らしい姿を振り返ったところで、セミナーがスタート。

### まずは曲を聴いてみよう



まずは挨拶の代わりに2~3曲続けて披露してくださいました。

綺麗な音楽が体育館に響き渡ります。生徒は静かに聞き入っていました。

## 音楽は繋がっている



「音楽はクラシックがあって、ジャズがあって、JPOPがあってではなく、全部影響されながら新しいものを生み出してきて、どんどん繋がって今のJPOPがあるんです。」

豊嶋さんから、人間も音楽も、音楽以外も、ずっと昔から繋がっており、古いものは「古い」のではないというお話がありました。

## フジコヘミングさんのお話



その話を踏まえて、クラシックの曲を1曲鑑賞することに。  
曲は、フジコ・ヘミングさんのリストの曲から。

曲の前に、フジコヘミングさんに関する紹介がありました。  
若い頃の壮絶な苦勞と両耳が聞こえなくなってしまうお話、それからの努力で有名になっていったお話など、生徒も息を呑んで聞いている様子でした。

「何歳になっても、そこがスタートだと思って頑張るって欲しいなと思います。」

そう締めて曲がスタート。

細かな美しいメロディと力強い低音が混ざり、迫力の1曲に、生徒からは大きな拍手が送られました。

## リズムをのせて



ここで、みんなで体を動かす音楽へ。  
スペインの有名な音楽「フラメンコ」が紹介されました。

歌とギターと手拍子で作るフラメンコは、リズムをとるのがとても難しいそう。

フラメンコの手拍子を生徒にやってもらいながら、豊嶋さんがフラメンコの曲を1曲演奏することになりました。

まずは、リズムの取り方をレクチャー。生徒のみなさん、さすがの速さでマスターしていました。

曲がスタート。手拍子とドラムの音にピアノの演奏がのっかりとても楽しそうな音楽が流れていました。

## 連弾してみよう！



次は、豊嶋さんと連弾をすることに！  
ピアノを習っている生徒が出てきてくれました。

生徒は同じメロディをリズムよく繰り返し演奏し、そこに豊嶋さんが曲をのせます。

同じ音を繰り返しているのに、曲がのるだけで、聴こえてくる全体の表情は1つの曲となり、目まぐるしく表情が変わっていくのでとても不思議です。

## 想像力を豊かにピアノを楽しむ



「ピアノが弾けなくても、今の連弾のように自由に遊べるのがピアノという楽器です。」

連弾の後、ピアノを色々なやり方で楽しんで欲しいというお話がありました。

連弾の他にも、黒鍵や、適当に音を鳴らすだけでも音楽になることを実演し、発想を変えて想像力を駆使して音楽を作ってみて欲しいと伝えます。

## 吹奏楽部の生徒と一緒に！



ここで、吹奏楽部とのコラボ演奏が行われました。曲は部員が選んでくれた「115万キロのフィルム」。

サクソやトランペット、トロンボーン等色々な楽器で奏でられる曲は、それぞれの個性が活かされた温かい気持ちになる1曲でした。

## 最後はみんなで歌って踊ろう！



最後の曲は「マツケンサンバ」。

吹奏楽部の演奏だけでなく、その他の生徒が奏でる打楽器、そして歌と踊りを載せることに。

たくさんの生徒が前に出てきてくれたところで曲がスタート。



みんなで作り上げるマツケンサンバはとても楽しげです。

サビではお決まりの「オレ！」を全員で！

先生方も壇上に登り曲は大盛り上がりでした！

## 最後に



ボブディランさんが息子さんに宛てた詞を先生に朗読してもらうことに。

豊嶋さんの奏でる静かでしっとりとした演奏に、先生が朗読します。

普段見られない先生の姿に、初めは和やかな雰囲気でしたが、最後は真剣に聴き入っていました。

## お礼の言葉



代表生徒からお礼の言葉が贈られ、最後は全員でお礼の挨拶。

## 豊嶋さん、ご講演ありがとうございました！



END